

第159回 (平成22年度第8回) 理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成23年2月9日(水) 19:00~21:00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館2階第1研修室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事： (副会長) 佐藤 嘉彦、山田 力、片 忠夫
(専務理事) 上田 英之
(常務理事) 清水 忠、木村 徳善、徳本 進、吉岡 去私
(理事) 金子 理人、本田 衛義、国島みどり、高柴 一彦、
青木 文明、岡田 良平、小池 光、森本 珠水、
佐々木生道、黒川 正孝、伊藤 敏光、大澤 康之、
和田 幸一
欠席理事： (会長) 河野 太郎
(理事) 中村 浩人、吉野 大成
4. 出席監事： 内海 雄三
欠席監事： 井上 敏郎
5. 議長選出： 上田 英之専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 小池 光理事、金子 理人理事を選出
7. 書記： 橘 小由里広報委員を指名
8. 議 事

議事に入る前に、片副会長から、本日は議題も多くしっかりと審議していただくため挨拶は手短にしますとの挨拶があった。

1) 教育本部

(1) 報告事項

木村本部長より、別添資料の通り報告があり、了承された。

【SAK関係】

- ① 車山Ⅰ行事 12月25日(土)~26日(日) 車山高原スキー場
参加者：スキー333名、ボード37名
今年度この行事より、指導員研修会・クリニックにデモンストレーションを取り入れた。
- ② 湯沢行事 1月15日(土)~16日(日) ガーラ湯沢スキー場
参加者：スキー90名
- ③ 五竜Ⅰ行事 1月21日(金)~23日(日) 白馬五竜スキー場
参加者：スキー371名、ボード16名
- ④ 戸隠強化合宿(B) 1月21日(金)~23日(日) 戸隠スキー場
参加選手：指定選手13名
- ⑤ スノーボード強化合宿 1月22日(土)~23日(日) 新潟県上越国際スキー場
参加者：14名
- ⑥ 車山Ⅱ行事 第10回千葉県・神奈川県スキー技術選手権大会 2月4日(金)~6日(日)
車山高原スキー場
参加者：322名 多少のトラブルはあったが、けが人もなく終了した。
- ⑦ 教育本部部会 2月8日(火) 19:00~20:00 県民センターフリースペース
議題：理事会資料(今後の雪上行事等)について

【SAJ・南関東ブロック関係】

- ① スキー・スノーボード大学 1月7日(金)～10日(月) 第一会場 北海道・朝里川温泉スキー場
スキー大学 1月27日(金)～31日(月) 第二会場 新潟県・上越国際スキー場
- ② 第11回南関東スノーボード技術選手権大会 2月4日(金)～6日(日)
新潟県上越国際スキー場 参加者：53名

【行事予定】

- ① SAK・南関東ブロック関係
2月12～13日五竜Ⅱ行事、2月12～13日戸隠行事、2月11～13日戸隠強化合宿
2月25～26日車山Ⅲ行事(スキー養成講習会・スノーボード準指・スノーボード認定指導員検定)
3月5～6日車山Ⅳ行事(スキー準指・認定指導員・BC級公認検定員検定)
- ② SAJ関係
2月11～13日テクニカルコンテスト(ルスツリゾート)
2月11～13日公認スノーボード指導員検定会(第1会場：北海道ルスツリゾート、第2会場：岐阜県ほおの木平)※第2会場は小池理事が役員で参加予定。
2月18～20日正指導員検定会
2月18～19日A級検定員検定会 ※第3会場・新赤倉に木村本部長が参加予定。
3月4～6日公認パトロール検定会・研修会(第3会場：岐阜県ほおの木平)

【電子申込みトラブル報告】

次の事項については佐々木理事及び総務本部金子事務局長から報告があり、以下のとおり質疑が交わされ、内容を精査して再度報告することとした。

- ・デジエントリーのトラブルについて
 - 1) 県技術選手権大会申込締切日誤記の件
 - 2) 指導員研修会申込フォーム変更の件
 - 3) 参加者名簿データ変換時のシステムトラブルについて
 - 4) デジエントリー不具合リストについて(金子事務局長)

《質疑》

佐藤副会長：デジエントリーに関するミス、手続きに関するミスなどトラブルがいくつかあったが、誰がミスをしたかではなく、本部長がすぐ処理をして、トラブルがさらに広がらないように積極的に動くようにしていただきたい。

片副会長：教育以外にトラブルはなかったのか。

吉岡本部長：競技で1件あった。

小池理事：ボードでデータ喪失のトラブルがあったが、バックアップがあり大事にはいかなかった。

清水総括常務：デジエントリーのトラブルを含め、2月15日までに原因の究明をし、報告がくることになっているので、その報告を受け今後の対策などを理事会でご報告します。

(2) 審議事項

- ①千葉県・神奈川県スキー技術選手権 審判員等の選出について(事後承認)
木村本部長より、別添資料の通り提案がなされ、承認された。
- ②テクニカルスキーコンテスト推薦選手の選出について(事後承認)
木村本部長より、別添資料のとおり提案がなされ、承認された。
- ③全日本スキー技術選手権大会選手選考結果について
木村本部長より、別添資料の通り提案がなされ、承認された。
- ④第11回南関東スノーボード技術選手権大会審判員の変更及びフォアランナーの追加(事後承認)

木村本部長より、別添資料の通り提案がなされ、承認された。

⑤指導員検定会他検定員等について

木村本部長より、別添資料のとおり提案がなされ、承認された。

⑥環富士山スキー技術選手権大会について

木村本部長より、役員について現在調整中であり、3月の理事会で再度提案することとした。

⑦スノーボード準指導員検定会・認定スノーボード指導員検定会検定員について

木村本部長より、別添資料の通り提案がなされ、承認された。

⑧第8回全日本スノーボード技術選手権大会の選手派遣について

木村本部長より、別添資料の通り提案がなされ、承認された。

⑨スノーボード強化合宿特別講師の依頼について

木村本部長より、別添資料の通り提案がなされ、承認された。

《質疑》

片副会長：技術選の運営について、千葉からクレームめいた話があったが、説明をしてもらいたい。

木村本部長：スポーツマン大回りのゴールエリアで転倒者が続いたので、ジャッジの位置を下げ、パトロールよんで、ネットの位置を下げた。間違った判断はしていない。

佐藤副会長：やったことと、反省は別である。けが人が出てからでは遅いので、女子の選手に転倒が続いた時に、ゴール位置を変更してはと申し入れたが、実際変更されるまでにかかなりの時間を要した。その点については、反省すべきである。

片：ジュリーメンバーが動かなくては、競技、大会は成り立たない。TDがきちんと掌握し、最終決定をするように。

佐藤：技術選で出場選手に大会の詳細の連絡がよく行き届いていなかった、という意見があったので、報告しておきます。

2) 競技本部

(1) 審議事項

①第66回国体神奈川県代表選手について（配布資料参照）

吉岡本部長より、アルペン成年A組田中聡史選手が骨折のため辞退、補欠の荒井選手も都合がつかないため、同クラスは派遣選手なしと訂正があり、他の選手は別添資料のとおり提案がなされ、承認された。

②第62回市町村対抗スキー競技会予算について

吉岡本部長より、補助役員について、各協会から派遣協力が得られないため、現地に旗門員を依頼する必要があり、現地役員費が20万円程度追加になる旨の提案がなされ、以下の質疑があったのち、承認された。

③第69回神奈川県スキー選手権大会（技術系種目）のスタート順について

吉岡本部長より、スタート順をSAKポイント順にする旨（未就学児及びキッズクラスは除く）の提案がなされ、以下の質疑があったのち、承認された。

《質疑》

佐藤副会長：②市町村対抗スキー競技会は、予算の関係上総括常務以上1名の参加でというが、市町村対抗という性質上、いろいろな意見を聞いたり、役割があるので副会長2名の参加予定である。また、会長が参加されるということなので予定通りでいきたい。

吉岡本部長：経費については、本部長・専務で調整することとする。

山田副会長：各市町村教育委員会に開会式等にご出席くださいという連絡をしてはどうか。PRしていくことが大切と考えるが。

吉岡：コースの変更を片副会長を通して現地に依頼し、スタート、ゴールを下げることで協議中。あとは雪の状態等見ながら現地で決定する予定である。

佐藤：エントリー期限は過ぎていても、各協会に連絡して参加を促す努力をしてほしい。

清水総括常務：神奈川県スキー選手権については、本来SAKポイントを獲得するために選手はいろいろな大会へ出場し、県選手権で誰が1番かを決めるわけだから、ポイント順にスタートすることは選手の立場に立てば当たり前のことで、賛成です。

森本理事：未就学児及びキッズクラス（小学校低学年）は危険性も考えて、先にスタートすることに賛成です。

片：チルドレン（小学校高学年）以上はすべてポイント順のスタートとのことだが、安全確保を第1に考え、コース整備がきちんとできるのか確認したい。

吉岡：コース整備、安全確保は確実にする。

山田：年齢別でないと、すべてが終了するまで表彰ができないが、時間は大丈夫なのか。

和田理事：競技終了後、15分あれば賞状含め対応ができる。

（2）報告事項

吉岡本部長から、下記の事項についての報告があり、了承された。

①ノルディック合宿兼フレッシュマン講習会

2010年12月29日～2011年1月2日 会場：木島平 参加者：22名

②第69回神奈川県スキー選手権ノルディック競技会

2011年1月2日～3日 会場：木島平 参加者：16名

③2011南関東ノルディック競技会

2011年1月14日～16日 会場：木島平 参加者：17名

④2011南関東ノルディック競技会マスタース

2011年1月14日～16日 会場：木島平 参加者：2名

⑤第12回神奈川県ジュニアスキー大会 第1戦尾瀬戸倉大会

2011年1月14日～15日 会場：スノーパーク尾瀬戸倉 参加者：128名

⑥第33回神奈川県民体育大会アルペン競技会

2011年1月15日～16日 会場：スノーパーク尾瀬戸倉 参加者：250名

⑦第66回国体スキー競技会神奈川県選考会

2011年1月16日～17日 会場：スノーパーク尾瀬戸倉 参加者：192名

⑧大会エントリー数比較

別添資料「大会エントリー実績比較表」参照。

3) 総務本部

（1）報告事項

下記の各項目について、別添資料の通り各理事より報告があり、了承された。

①慶弔関係 なし

②資金運用状況（金子理事）

1月末現預金残高 平成21年度：16,528,559円

平成22年度：14,226,648円

③登録状況（本田理事）

会員登録総数 平成21年度確定5465 平成21年度同時期5336

平成22年度 5276

・佐藤副会長：減少が止まったと言えるように、登録を迷っているところなどへ、もう少し呼びかけをしてはどうか。

・片副会長：各協会、クラブ等昨年度との比較の詳細なデータを出して検証してはどうか。

④電子申込委員会（金子理事）

教育本部報告事項に記載

⑤協賛会員拡大委員会

本田理事より、協賛企業への請求書の発送を今月中に行うことの報告があった。

⑥ハンディキャップ委員会（国島理事）

国島理事より、1月21日（金）セミナーⅡ（視覚障害者への介助法）を実施。受講者：17名、1月22日～23日にスキー教室実施。参加者：23名、賛助会費 8件 21,500円の報告があった。

⑦普及振興委員会

青木理事より、2月18日～20日に「ジュニア雪とのふれあい行事（菅平）」を開催予定、参加者：65名、海老名市にはスキー協会はないが、教育委員会の協力があり、参加人数の増加があった旨、報告があった。

⑧県体協の新公益法人移行の説明会開催について

徳本本部長より、1月24日（月）県民センターにて、県体協の新公益法人移行の説明会開催があり、出席した。

⑨県体育功労者表彰について

徳本本部長より、1月8日（土）県庁にて、県体育功労者の表彰式があり、SAK「山田隆」氏が表彰されたことの報告があった。

（2）審議事項

①県体協の新公益法人移行時の評議員選出について

徳本本部長より、県体協の評議員1名の選出依頼があったので、山田力副会長を推薦したいとの提案がなされ、承認された。

②公益法人移行の税理士事務所選定について

③公益法人移行のマスタープランについて

以上2項目については、上田専務理事及び徳本本部長からの説明のみで終了し、検討は常務会に委任して、次回理事会で報告することとした。

④指導者資格停止解除申請規定について

金子事務局長より、別添ケーススタディにより提案があったが、審議事項を明確にし、次回再提案することとした。

⑤謝金規程について

⑥協賛会員規程の改訂について

⑦賛助会員規程の改訂について

以上3項目については、徳本本部長から、今回は取り下げる旨報告があった。

⑧役員選出規程の改訂について

⑨規約規程委員会の発足と諮問事項について

以上2項目については、佐藤副会長より常務会提案として説明があり、諮問事項を規約規程委員会へ諮問したいとの提案がなされ、承認された。

4）監事意見

内海監事より、3月23日（水）にプレ監査を行うことの要請があった。

最後に山田副会長より、「各行事が続いて行われますがしっかり行うように、また公益法人移行に関して理事の皆さんに負担をかけることになると思いますが、頑張っていきましょう。」との挨拶があり、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成23年 2月 22日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印